

財務・非財務ハイライト

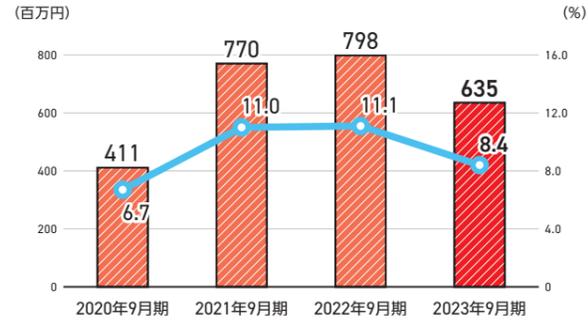
財務ハイライト

売上高



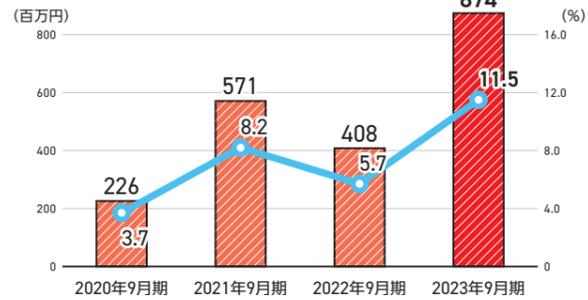
交通インフラ事業における電気通信設備・構造物の点検・保守、高速道路の維持管理などの業務が順調に推移したことなどにより、前年に比べ4.9%増加し、7,577百万円となりました。

営業利益 / 営業利益率



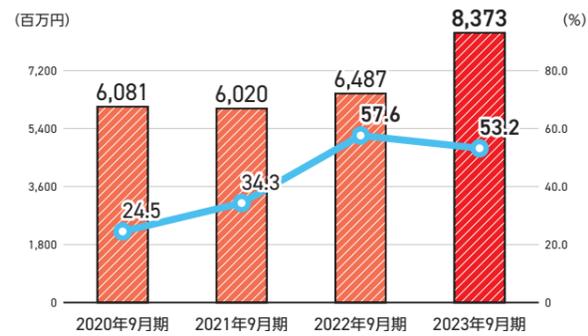
売上高は前年に比べ増加していますが、M&Aによる仲介費用や積極的な人材採用などの成長投資を先行的に実施したことなどにより、営業利益は前年に比べ20.4%減少し、635百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益 / 親会社株主に帰属する当期純利益率



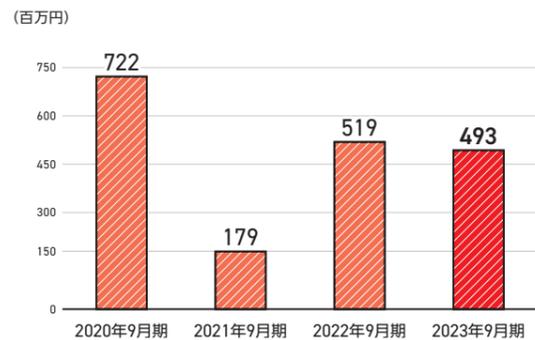
M&Aによるグループ化に伴う負ののれん発生益191百万円の特別利益計上などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前年に比べ114.3%増加し、874百万円となりました。

総資産 / 自己資本比率



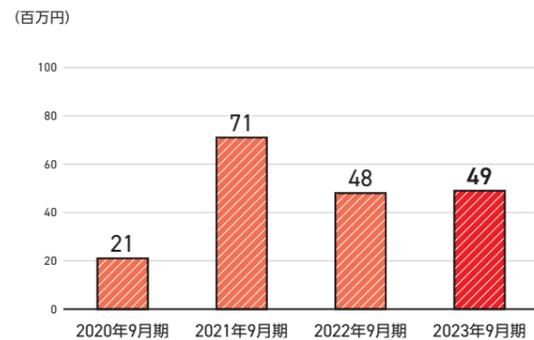
総資産は前年度末に比べ1,886百万円増加し、8,373百万円となりました。自己資本比率は、短期借入金が増加したことなどにより、前年に比べ4.4%減少しています。

設備投資額



交通インフラ事業関連において、新事務所の建設を中心として83百万円を投資するなど、事業拡大に向けて積極的に投資を行いました。

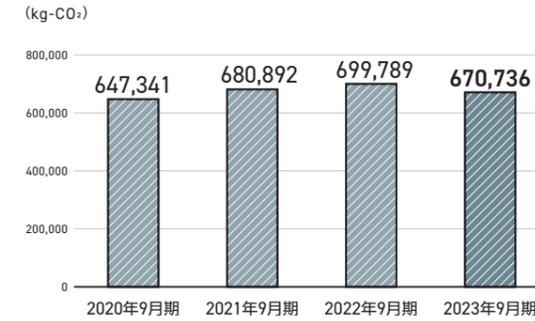
研究開発費



当社グループでは2023年1月より、グループ全体の研究開発・事業開発機能を一元化した組織として、「JESc事業開発研究室」を新設し、会社横断的に各事業部と連携した研究開発活動を推進しています。

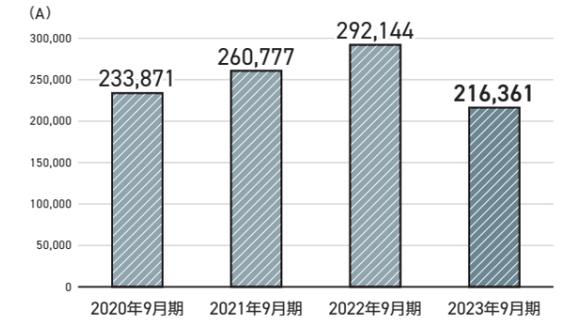
非財務ハイライト

CO₂排出量^{※1}



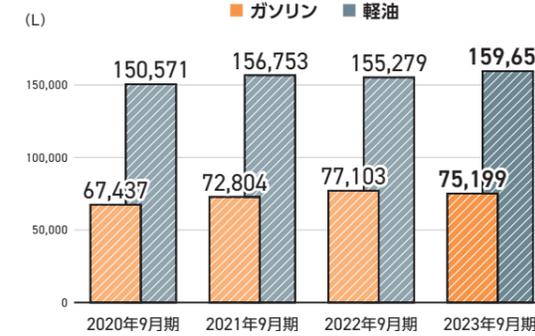
毎月全社員に運行情報を共有し、常に意識付けをすることで、ガソリン給油量が減少しています。また、事業所の売却に伴い電力消費量も減少したことなどによりCO₂の排出量が減少しました。

電気使用量^{※1}



自社所有の賃貸用オフィスの売却により、電気使用量が大幅に減少しています。昨年度より、全社を挙げての節電などの経費削減の取り組みも進めています。

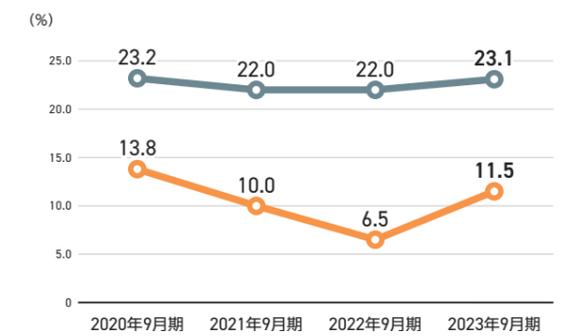
ガソリン・軽油給油量^{※1}



交通インフラ事業の業績が順調だったことにより、軽油の使用量が微増となっています。車両運行管理システム^{※2}を活用することでガソリンと軽油の使用量を可視化し、使用量の削減に努めます。

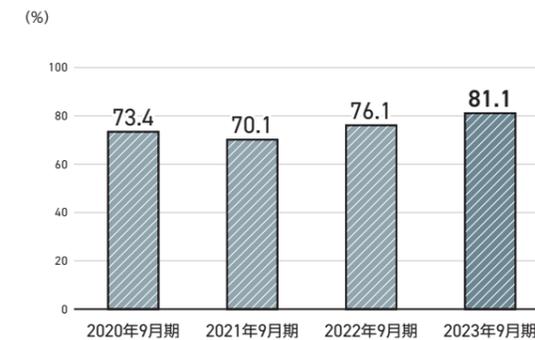
※2 自動車内に設置し、燃費や燃料消費量、CO₂排出量を確認することができる装置

女性従業員比率 / 女性管理職比率^{※1}



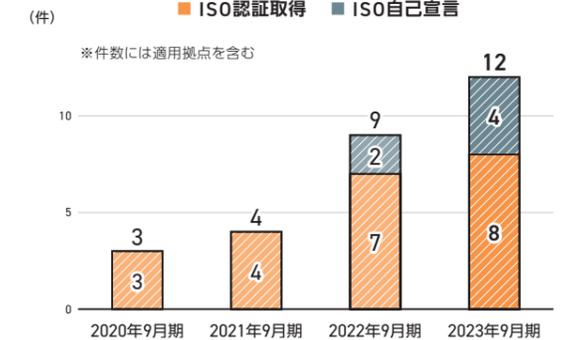
女性管理職比率は昨年より約5%上昇し、11.5%となりました。当社グループの事業内容として男性従業員が多くなる傾向にありますが、引き続き女性従業員の積極的な採用を進めていきます。

有給休暇取得率



上場後からは労働環境も改善し、従業員も増え、業績も伸びていることから、私用などでも有給休暇を取りやすくなりました。今後ワーク・ライフ・バランスの向上を進めていきます。

ISO9001/14001認証取得・自己宣言件数^{※3}



当社グループでは、ISO9001/14001認証取得または自己宣言を行っています。ISO活動を通してSDGsの各目標を踏まえながら、持続可能な社会の実現を推進しています。

※1 集計方法を見直しております。 ※3 ISO9001/14001認証取得・自己宣言件数は連結グループを対象としています。